

## ⑪公開特許公報(A) 昭60-244188

⑫Int.Cl.  
H 04 R 1/10識別記号  
101府内整理番号  
B-7314-5D

⑬公開 昭和60年(1985)12月4日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭発明の名称 ヘッドホン

⑮特 願 昭59-99802

⑯出 願 昭59(1984)5月17日

⑰発明者 山内 健治

門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑱発明者 竹下 実

門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑲出願人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

⑳代理人 弁理士 森本 義弘

## 明 期 審

## 1. 発明の名称

ヘッドホン

## 2. 特許請求の範囲

1. スピーカユニットを収納保持しつつ突出部を有するハウジングと、ハンガー端部の取付凹部内に位置して前記ハウジングの突出部を回動自在に嵌入保持する複数の弾性支持リブと、これら複数の弾性支持リブ全体を囲むように圧入されたゴムリングとを備えたヘッドホン。

## 3. 発明の詳細な説明

## 産業上の利用分野

本発明はヘッドホンに関するものである。

## 従来例の構成とその問題点

従来のヘッドホンについて第1図～第3図を用いて説明する。入力コード1が接続されたスピーカユニット2を収納保持したハウジング3が、ハンガー4に対してスムーズに回動変位できるよう、ハウジング3をハンガー4の端部4aに回動自在に取付けている。具体的には、第2図に示す

如く、前記ハウジング3の背面に球状の突出部3aを形成すると共に、前記ハンガー4の端部4aに形成された取付凹部5内に、一对の弾性支持リブ6a, 6bを形成して、この弾性支持リブ6a, 6bに、ハウジング3の突出部3aを回動自在に嵌入保持する球状の取付受け部7を構成し、ハウジング3の突出部3aがハンガー端部4aに形成された取付凹部5内の一对の弾性支持リブ6a, 6bの弾性力に抗して嵌入された際、第3図のように、突出部3aが球状の取付受け部7により回動自在に弾性的に保持されるようになっている。なお8はイヤーバンドである。

しかしながら、このような従来のヘッドホンにおいては、スピーカユニット2を収納保持したハウジング3を、ハンガー4の端部4aに形成された取付凹部5内の一对の弾性支持リブ6a, 6bの弾性のみで回動自在に保持するようしているため、ハウジング3の突出部3aがハンガー4の端部4aの取付凹部5内の一对の弾性支持リブ6a, 6bから外れ易く、また外れないまでも、

CLIPPEDIMAGE= JP360244188A  
PAT-NO: JP360244188A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60244188 A  
TITLE: HEADPHONE

PUBN-DATE: December 4, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME  
YAMAUCHI, KENJI  
TAKESHITA, MINORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP59099802

APPL-DATE: May 17, 1984

INT-CL (IPC): H04R001/10

US-CL-CURRENT: 181/137

ABSTRACT:

PURPOSE: To rotate and displace smoothly a housing part with respect to a hanger by holding force and to improve a commodity image by reinforcing elastic holding force of each elastic supporting rib with respect to a projection of a housing of a headphone by rubber rings.

CONSTITUTION: A circular rubber ring 9 of a headphone is pressed in the outer periphery of respective elastic supporting ribs 6a and 6b in a fitting recessed part 5 of an edge 4a of a hanger 4. By this rubber ring 9, elastic holding force of respective supporting ribs 6a and 6b with respect to a globular projection 3a of a housing 3 is reinforced. The projection 3a of the housing 3 of the headphone with this constitution can be easily detached from a fitting receiving part of the hanger 4, and the housing 3 can be

rotated and displaced  
by an appropriate holding force, which improves a commodity  
image of the  
headphone.

COPYRIGHT: (C)1985, JPO&Japio

突出部 3a と取付受け部 7との成合が緩いと、ハンガー 4に対するハウジング 3の回動変位が程すぎて、商品的にも好ましいものではなかった。

#### 発明の目的

本発明は上記従来の欠点を解消するもので、ハウジングの突出部とハンガー端部の取付受け部との成合を安定なものにし、ハウジング部をハンガーに対し、適度な保持力でスムーズに回動変位させることができるようにヘッドホンを提供することを目的とする。

#### 発明の構成

上記目的を達成するため、本発明のヘッドホンは、スピーカユニットを収納保持しつつ突出部を有するハウジングと、ハンガー端部の取付凹部内に位置して前記ハウジングの突出部を回動自在に嵌入保持する複数の弾性支持リブと、これら複数の弾性支持リブ全体を囲むように圧入されたゴムリングとを備えた構成としたものである。

かかる構成によれば、ゴムリングにより弾性支持リブの弹性保持力を補強できるので、ハウジン

グの突出部がハンガーの弾性支持リブから外れにくくなると共に、適度な保持力でハウジングをスムーズに回動変位させることができ、ヘッドホンを使用する使用者に良好な商品イメージを与えることができる。

#### 実施例の説明

以下、本発明の一実施例について、図面に基づいて説明する。

第1図は本発明の一実施例におけるヘッドホンの要素の断面図、第2図は同ヘッドホンのハウジングとハンガーとを分離した状態の要素の断面図で、第1図～第3図に示す構成要素と同一の構成要素には同一の符号を付してその説明を省略する。

第4図において、9は円環状のゴムリングであり、このゴムリング9は、ハンガー4の端部4aの取付凹部5内の各弾性支持リブ6a、6bの外周に圧入されている。このゴムリング9により、ハウジング3の球状の突出部3aに対する各弾性支持リブ6a、6bの弹性保持力が補強される。

#### 発明の効果

以上説明したように本発明によれば、ハウジングの突出部に対する各弾性支持リブの弹性保持力をゴムリングにより補強したので、ハウジングの突出部がハンガーの取付受け部から容易に外れることなく、適度な保持力でハウジングをスムーズに回動変位させることができ、ヘッドホンの商品イメージを向上させることができる。

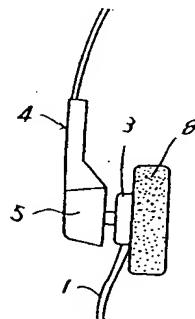
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のヘッドホンの要素の正面図、第2図は同ヘッドホンのハウジング部をハンガーから分離した状態の要素の断面図、第3図は同ヘッドホンの要素の断面図、第4図は本発明の一実施例におけるヘッドホンの要素の断面図、第5図は同ヘッドホンのハウジング部をハンガーから分離した状態の斜視図である。

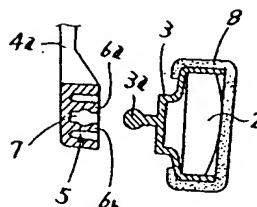
2…スピーカユニット、3…ハウジング、3a…突出部、4…ハンガー、4a…端部、5…取付凹部、6a、6b…弾性支持リブ、9…ゴムリング

代理人 森本義弘

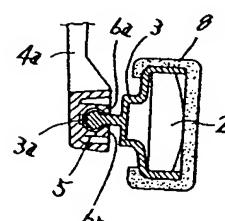
第1図



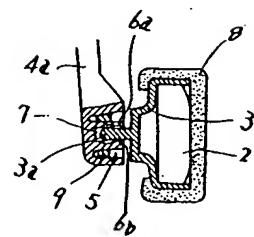
第2図



第3図



第4図



第5図

